

決行（決裁）後
回覽課名

陸 等

副官ヨリ

東京瓦斯電気工業株式會社
取締役社長 松方五郎へ通牒

一月東京瓦斯電気工業第一號ヲ以テ出願アリレ首題ノ
件承認セラレシニ付依命及通牒候也

一 陸等第一五九號

昭和十年一月十七日



6810

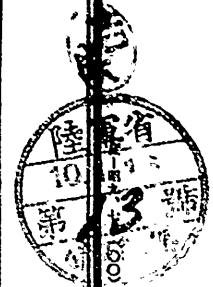


陸軍
電工 兵第一號

陸軍

九

號



機關銃部品ヲ奉天造兵所へ供給方ノ件御願

昭和十年一月 日

東京市大森區公針町三丁目三番地
東京市大森區公針町三丁目三番地
東京市大森區公針町三丁目三番地

東京市大森區公針町三丁目三番地

東京市大森區公針町三丁目三番地

陸軍大臣 林 銑 十 郎 殿

今般奉天造兵所ヨリ三年式機關銃部品及十一年式輕機關銃部品別紙ノ通
註文有之候就テハ弊社ニ於テ製造ノ上供給兼度候間御認可被成下度該造
兵所ニ對スル關東軍司令官ヨリノ認可書寫相添へ此段奉願上候也

東京市大森區公針町三丁目三番地

0190

東瓦
兵第一號別紙
電工

三年式機關銃部品註文品目數量表

品目	數量	摘要
床尾(附隨品共)	一〇個	
銃身()	一〇	
放熱筒()	一〇	
尾筒()	一〇	
連發機	一〇	
遊底	一〇	
送彈機	一〇	
三脚架	一〇	
屬品	一〇	

東京瓦斯工業株式會社

昭和九年七月

アジア歴史資料センター

奉造工第二二九八號

昭和九年十一月三日

株式會社奉天造兵所
社長 村瀨 文雄

關東軍司令官 麥刈 隆 殿

兵器註文引受製造方御認可相成度件願

滿洲國軍政部ヨリ別紙明細書ノ兵器註文相受度之力引受製造御認可
相成度及願出候也

東京市麹町區丸ノ内貳丁目拾四番地

株式會社 奉天造兵所東京出張所

電話九ノ内(23)

八八八四
四四四六
三二一三
番番番〇

關兵乙第二三二八號

兵器註文引受製造認可ノ件通牒

昭和九年十二月十七日

關東軍司令官事務取扱 菱刈 隆

奉天造兵所社長 村 瀬 文 雄 殿

十一月三日奉造工第二二九八號ニ依ル首題ノ件願出ノ通認可ス

東京市麹町區丸ノ内貳丁目拾四番地

株式會社 奉天造兵所東京出張所

電話丸ノ内(23)

四八八八
六四四四
三二一三
番番番〇

明細表

品目	員數	單價	小計	納入期滿	仕様	納入場所
四一式山砲 砲車	一〇	七八四〇〇〇	七八四〇〇〇	昭和十年八月	日本制式品ニ準ス 除豫備表尺 (眼鏡共)	奉天造兵所構内
同 器具箱收入品共	一〇	五二〇〇〇	五二〇〇〇	同 右	同 右	
七九耗長銃ヲ六五耗ニ改修	三〇〇〇	一七六〇	五二八〇〇〇	現品受領後 二ヶ月目ヨ リ毎月 六〇〇	現品ハ本年度註文 ノモノト同様程度 トシ實用本位ノ加 修ヲ含ミタルモノ トス	
十一年式 輕機關銃	二〇〇	七四五〇〇	一四九〇〇〇〇	十年七月ヨ リ毎月三〇	日本制式品ニ準ス	
同 空包銃身	二〇〇	二〇〇〇	四〇〇〇〇〇	十年三月	同 右	
三年式 機關銃 (除豫備銃身)	五〇	一八〇〇〇〇	九〇〇〇〇〇	十年十一月	三年式機關銃ニ準 スルモノ	
同 器具箱收入品共	一五	六三〇〇〇	九四五〇〇〇	同 右	同 右	奉天造兵所構内
同 空包銃身	一五〇	四三〇〇〇	六四五〇〇〇	十年五月	同 右	

計 國 幣	三八式野砲豫備品車 (除前後車屬品)	一〇	一三〇〇〇〇	一三〇〇〇〇〇	十年七月	日本制式品ニ準ス
	方 向 飯	一〇	九〇〇〇〇	九〇〇〇〇〇	十年五月	同 右
	重砲砲隊鏡	一〇	八六〇〇〇	八六〇〇〇〇	同 右	同 右
	三 脚 架	三〇	六七〇〇	二〇一〇〇〇	同 右	同 右
	三八式銃空包 (紙函共)	三〇〇〇〇〇	万二付 二六七〇〇	八〇一〇〇〇	九年十二月	同 右
	輕機關銃空包 (紙函共)	二〇〇〇〇〇	三八〇〇〇	六六〇〇〇〇	十年四月	同 右
	克式藥莢爆管	一〇〇〇〇	四〇〇	四〇〇〇〇〇	十年三月	克 式
	一號空包藥	二〇〇	五五〇	一〇〇〇〇〇	九年十二月	日本制式品
	輕迫撃砲半成彈藥ヲ 完成彈藥ニ製作	八五〇〇	四九五	四二〇七五〇〇	十年四月ヨリ 十年七月完納	仕様ノ通り
	四拾九萬五百九拾五圓也					
奉 天 造 兵 所 構 内						

陸軍監督官經由

奉造作第一一四六號

昭和九年五月十九日

株式會社奉天造兵所
社長 黑崎 延次郎

關東軍司令官 菱刈 隆 殿

兵器註文引受製造方御認可相成度件願
滿洲國軍政部ヨリ別紙明細書ノ兵器註文相受度之カ引受製造御認可
相成度及願出候也

東京市麹町區丸ノ内貳丁目拾四番地
株式會社 奉天造兵所東京出張所

電話九ノ内(23)
八八八四
四四四六
三二一三
番番番〇

東京市麹町區丸ノ内貳丁目拾四番地
株式會社 奉天造兵所東京出張所

電話丸ノ内(23)

八八八四
四四四六
三二一三
番番番〇

關兵乙第八三二號

兵器註文引受製造認可ノ件

昭和九年五月廿四日

關東軍司令官

菱刈 隆

隼奉天造兵所社長 黑崎延次郎 殿

五月十九日奉造作第一一四六號ニ依ル首題ノ件願ノ通認可ス

品目		員數	納付期限	仕樣	納付場所
砲車	器具箱(收入品共)	一〇	十年六月	日本制式品ニ準 ス以下同	奉天造兵所工場渡
	駄馬具 砲身用 (除鞍下毛布)	一〇			
	托架用	一〇	九年十月		
	大架用	一〇			
砲	彈藥箱用	一〇			
山	鋼性銃榴彈々藥筒	一〇、〇〇〇	信管以外 九年九月ヨリ逐次十二月完納 信管 九年九月ヨリ逐次十年三月完納	彈體ハ炸藥填實 傳火藥室裝着 其他ハ部品毎ニ 引渡	
砲	三年式機關銃實包 保彈板 紙函共	一、六〇〇、〇〇〇	九年九月ヨリ逐次九月完納		
砲	九一式曳火手榴彈	一〇、〇〇〇	九年九月ヨリ逐次引渡九年十二月完納		
砲	硝安爆藥(二〇〇瓦) 箇	一〇、〇〇〇	一部九年五月六月完納		

[illegible]

0200

四〇式藥莢爆管箱	藥莢箱	四一式山砲鋼性銃榴彈用甲銃火藥箱	榴散彈用藥	八種輕迫撃砲部品補充	三八式野砲壓搾彈	四一式山砲空包點火藥莢	同空包點火藥莢	三八式野砲點火藥莢	四〇式藥莢爆管	三年式複動信管	一號方形形藥	四號空包藥
一〇	二〇〇	一四〇	八〇、〇〇〇	門分五〇〇	二〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	五〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇
鋼性銃榴彈々藥筒二同			九年十月	同	九年七月	同	同	九年七月	九一年七月完納	十年五月	九年九月	九年七月
一〇〇〇個入	五〇個入	二〇個入						新制式品				
奉天造兵所工場渡												

0201

	英箱	一〇	銅性銃榴彈々藥筒ニ同	
	十字紙箱	五	一〇〇〇個入	二〇〇〇個入